

授業料等不徴収協定に基づく派遣交換終了報告書

所属（本学）	理工学研究科建築学専攻		
現在の学年	修士2年		
留学先国	イタリア	留学先大学	ミラノ工科大学
留学期間	2014年10月1日～2015年2月27日		

① 留学先大学の概略

イタリアの経済の中心地、ミラノにある工科大学 Politecnico di Milano に通っていました。

② 留学前の準備

1年遅れで修士を卒業するために、3月から2月までの1年間で留学をしました。就職活動は帰国後始めました。論文は留学前に基礎研究を、留学中に自主勉強をしました。

留学情報は、過去留学をした先輩から得ました。先輩のツテで在ミラノ日本人を教えてもらい、手続きなども手伝ってもらいました。

③ 留学中の勉学・研究

全てオンライン登録、授業の選別期間がないため非常に授業を受けにくい。マンモス校であり、指導教官と学生の人数比のバランスが悪いように感じた。

④ 留学中に行った勉学・研究以外の活動

課題のあまり忙しくない時には、知り合いの働いている建築設計事務所で模型作りの手伝いをした。イタリア内外の建築や都市を体験するために、長期休みや休日は積極的に旅行にかけた。

⑤ 留学を終えて、自分自身の成長を実感したエピソード

各国で近代化の段階や経ている歴史が異なるため、デザインの完成や理想の都市像が異なり、グループワークでは混乱した。しかし、事例を交えながら自分の考えを伝えることで相手と考えを共有することができるようになった。また、自分の考えに対しても人の考えに対しても、正誤はないのだと考えることができるようになった。

⑥ 留学費用

渡航費:80,000 円(片道)

生活費:5,0000 円(食費、交通費など)

住居費:70,000 円(月)

保険料:140,000 円(通年)

奨学金:80,000 円(月/半年間)

⑦ 留学先での住居

寮はあるが、正規の修士課程の生徒で埋まるので借りにくい。かなり前から申し込みをして抽選だが、上手くいった人の話は聞いたことがない。大抵の学生はシェアハウス(3,4人)に住んでいる。

⑧ 留学先での語学状況

英語の授業が設けられているが、イタリア語の授業にも面白そうな内容のものがあり、イタリア語を習得していたほうが視野は広がると感じた。TOEFL は 68 点だったが、アカデミックな単語がわからず苦労した。

⑨ 単位認定、在学期間

単位認定を所得中。帰国後、半年の在学期間の延長。

⑩ 就職活動

留学中:OB とまめに連絡を取り、受ける会社を決める。就職活動の作品集を作成する。

帰国後:エントリーシートの提出、面接、試験

⑪ 留学先で困ったこと(もしあれば)

ホームシック。家族に会いたくてよく電話をしていた。

⑫ 留学を希望する後輩へアドバイス

留学に行けば人生が変わるわけではありません。留学前、留学後と連続した、自分の人生の中の1年間をどのように過ごすか、ということが大切です。ただ、よくも悪くも東京工業大学は閉鎖的な環境なので、自分の専門分野をそれまでとは異なった環境で学ぶことができた、ということは大きな収穫でした。